

レニン・アンジオテンシン系降圧剤 アポプリール錠12.5 販売名（一般名収載）変更のお知らせ

医療関係者 各位

謹 啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、販売名変更に係る代替新規申請により、弊社販売のレニン・アンジオテンシン系降圧剤「アポプリール錠12.5」の販売名が変更され、2013年12月13日付官報にて『カプトプリル錠12.5mg「日医工」』が薬価収載されましたので、販売名および各種変更を下記の通りご案内申し上げます。

変更に際しましては、大変お手数をお掛けすることと存じますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

1. 販売名変更品

旧販売名	新販売名
アポプリール錠 12.5	カプトプリル錠 12.5mg「日医工」

2. 変更内容

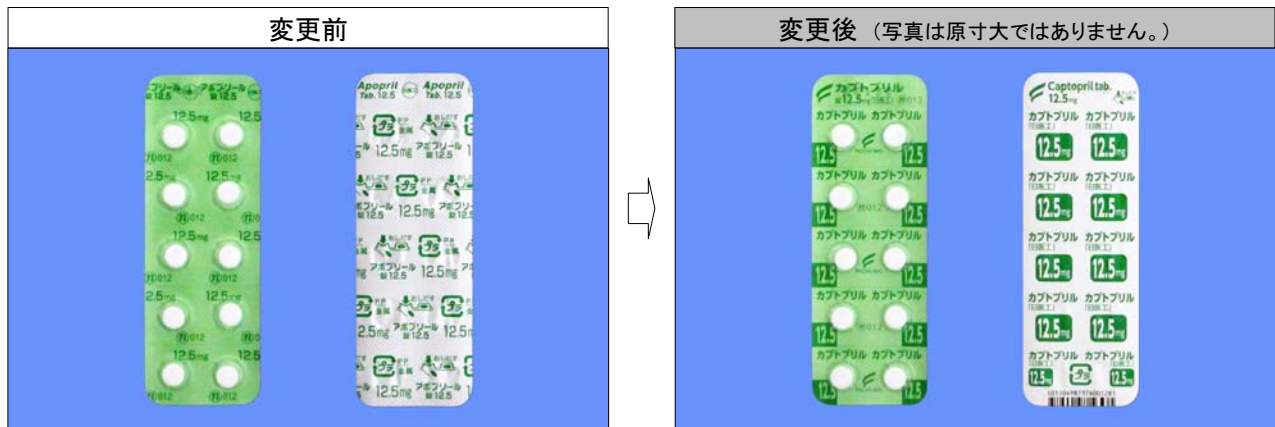
- ・製品個装箱・梱装箱・PTPシート・容器ラベル・添付文書等、新販売名の表示になります。
- ・薬価基準収載医薬品コード・JANコード等が変更になります。（薬価基準・包装規格の変更はありません。）
- ・調剤包装単位コードを追記しました。（全包装規格）

		旧販売名	新販売名	変更ロット (使用期限)	出荷開始時期
販 売 名		アポプリール錠 12.5	カプトプリル錠 12.5mg「日医工」		
薬価基準収載医薬品コード		2144001F1038	2144001F1259	—	—
J A N コ ー ド	PTP 100 錠	4987376101219	4987376001212	KK1301 (2016年11月)	2014年5月
	PTP1000 錠	4987376101233	4987376001236	KK1301 (2016年11月)	2014年6月
	バラ 1000 錠	4987376101240	4987376001243	KK1302 (2016年11月)	2014年6月
販売包装 単位コード	PTP 100 錠	14987376101216	14987376001219	—	—
	PTP1000 錠	14987376101230	14987376001233		
	バラ 1000 錠	14987376101247	14987376001240		
調剤包装 単位コード	PTP 100 錠	—	04987376001281	—	—
	PTP1000 錠	—	04987376001281		
	バラ 1000 錠	—	04987376001298		

- ・流通在庫状況により医療機関様への供給時期が前後する場合がありますので、何卒ご了承下さい。

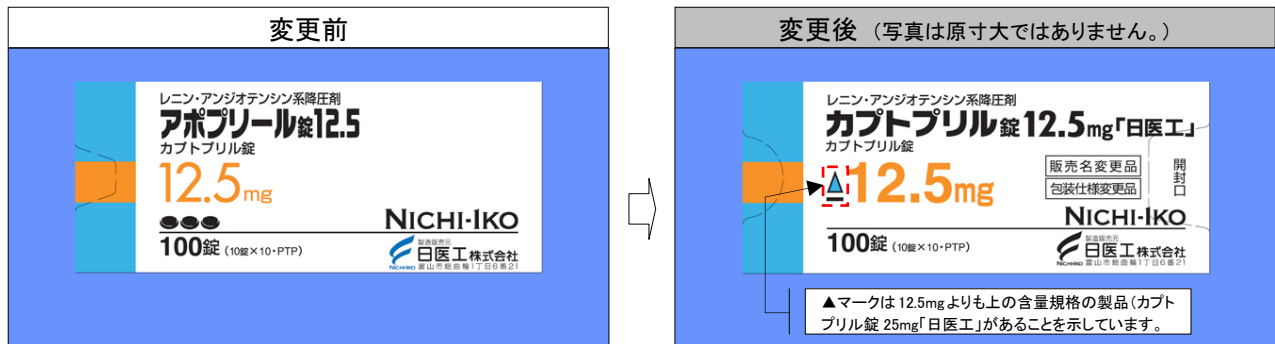
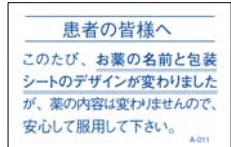
■PTPシート

- ・デザイン変更ならびに調剤包装単位コードを追記しました。(錠剤・PTPサイズの変更はありません。)



■個装箱 (写真: PTP100 錠包装)

- ・個装箱サイズを変更しました。(PTP1000 錠包装)
- ・開封口形状および位置 (天面左側⇒天面右側) を変更しました。(PTP100 錠包装) **【患者様向けお知らせカード見本】**
- ・廃棄方法の簡略化の対応としまして、ミシン目 (天面左側) を追加しました。(PTP100 錠包装)
- ・製品名等の文字体・文字サイズ・表示位置等を変更しました。(全包装)
- ・個装箱には、**販売名変更品**・**包装仕様変更品**を表示いたします。
- ・PTP 包装の個装箱には、患者様向けお知らせカードを封入いたします。



■個装箱サイズ

包装規格	変更前		変更後	
	サイズ (mm)	重量 (g)	サイズ (mm)	重量 (g)
PTP1000 錠	111 × 164 × 77	281	111 × 139 × 77	280

■元梱包箱サイズ

包装規格	変更前			変更後		
	サイズ (mm)	重量 (kg)	入り数	サイズ (mm)	重量 (kg)	入り数
PTP1000 錠	255 × 415 × 204	3.3	10	250 × 415 × 179	3.3	10

■バラ 1000 錠包装の容器ラベル (写真省略)

- ・JAN コード削除と同時に、調剤包装単位コードを追記しました。(個装箱には JAN コード記載あり)
- ・製品名等の文字体・文字サイズ・表示位置等を変更しました。

3. 旧販売名製品の経過措置期間満了日について

『アポプリール錠 12.5』は銘柄別収載品目 (2014年3月31日迄) から統一名収載品目 (2014年4月1日以降) に移行するため、官報告示されておきませんが、2014年4月1日以降は、銘柄別或いは統一名のレセプト電算処理システムコードのどちらでも請求が可能です。但し、銘柄別のレセプト電算処理システムコードは2014年10月1日以降、一定期間経過した後、経過措置期限が設定され、その期限日以降は使用できなくなります。

以上